

# 特記仕様書

三 次 市

## 第1章 総 則

### 第1条 適 用

1. この仕様書は、工事施工の適正を期するための仕様書であり、広島県土木工事共通仕様書に優先するものとする。
2. 工事施工にあたっては、設計図面・工事請負契約書及び、広島県土木工事共通仕様書、建設工事執行規則に準拠するほかこの特記仕様書に定めるものとする。

### 第2条 協 議

1. 設計図面・契約書及び工事現場で不明なこと計画設計内容等に変更が起きた場合は、直ちに監督職員と協議すること。
2. 工事の内容及び工法等について、関係者及び地元役員から変更の申し入れがあった時は必ず監督職員に報告し、協議決定してからでないと変更してはならない。

### 第3条 諸 手 続

1. 工事着手に先立ち、他省庁管理施設（道路・河川・鉄道・電柱・その他公共施設）に関する工事で発注者が認可申請をするもの以外で工事施工に伴う申請（警察署・消防署・漁協等）及び協議をして、その許可条件を順守すること。
2. 文化財指定周辺の工事は関係者（県教育事務所・市教育委員会）立会のうえ指示に従って施工すること。

### 第4条 工事施工にあたって

1. 工事施工にあたっては、第三者に迷惑を及ぼさないよう細心の注意をし、工事用重機械及び諸資材の搬出入等で既設道路・水道管・護岸・電柱・家屋等に損傷を与えた場合は受注者の責任において、速やかに管理者等と協議をして、必要な処理をすること。
2. 工事施工にあたっては、土木工事安全施行技術指針・保安施設設置基準・公衆衛生等に関する諸法規を順守して現場管理を行うこと。  
特に豪雨、出水その他天災に対しては、気象予報に十分注意をして、特にこれらに対処できる準備をしておき、災害の防止に努めなければならない。
3. 設計図面及び仕様書に表示してある寸法はすべて仕上がり寸法である。

### 第5条 跡 片 付 け

1. 丁張・測量杭等の撤去は法面をいためないようにする。
2. 材料置場・仮設物・標識などは速やかに撤去し原形に復すこと。
3. 工事区域内に飛散した雑物は処分清掃すること。

## 第2章 ぶどうたな設置工事

### 第1条 縄 張 り

1. ぶどうたな等の配置計画を基に縄張りを行い、監督職員の承諾を得ること。

### 第2条 材 質

1. 隅柱、周囲柱等 柱は鋼製、亜鉛メッキ仕上げとし、錆の発生には注意すること。

### 第3条 固 定 方 法

1. 柱の計画場所において、試掘を行い、設置確認をすること。
2. ぶどうたなの高さは内部作業するとき、障害とならないようにすること。
3. 柱は、固定アンカー等で固定し、張力のバランスをとること。
4. 柱の半鋼線、撚線の張り具合（調整）は、周囲のぶどうたな等を参考にして設置確認すること。

### 第4条 危 険 防 止

1. 柱の周辺には、空間を持たせメンテナンスし易くすること。

### 第5条 そ の 他

1. ダンプカー協会加入者の優先使用について
  - (1) この契約に係る工事の施工に当たってダンプカー協会の設立、加入等の状況に応じてダンプカー協会加入車を優先的に使用するようつとめること。
2. ダンプトラック等による過積載の防止について
  - (1) 工事用資機材の積載超過のないようにすること。
  - (2) 過積載を行っている資材納入業者から資材を購入しないこと。
3. 建設工事に係る暴力団による工事妨害について
  - (1) 暴力団から工事妨害の被害を受けた場合は、その旨を直ちに報告するとともに被害届けを速やかに警察へ提出すること。
  - (2) 警察から被害届受理証明書が交付され、かつ、工程の調整を行ったにもかかわらず工期に遅れが生ずるおそれがある場合は、建設工事請負契約約款（以下「約款」という。）第21条の規定による工期延長申請書に当該証明書を添付して提出すること。